

「食べて応援!in仙台」 飯館村の産品の魅力をPR

「飯館村の農畜産物の安全性やおいしさを直接消費地に伝えること」を目的に展開している「いいたて魅力向上発信事業」の一環で、3月15日・16日に『食べて応援!in仙台』に出店しました。この催しは農林水産省・東北農政局の主催で、会場の錦町公園に岩手・宮城・福島3県のおいしいものが大集合。村のブースでは、飯館産黒毛和牛のチゲスープやメンチカツ、もち米「あぶくまもち」の甘酒やぜんざい、イチゴやナツハゼの特製ベーグル、特産のどぶろくなど趣向を凝らした逸品を販売。村ならではの魅力を発信しました。



会場を訪れた皆さんと交流しながら、多彩なラインアップで飯館村の農畜産品の魅力を伝えました。

男女共同参画講演会 「やりたいことをやっていい」

2月28日、交流センター「ふれ愛館」で、宮谷理恵さんを講師に迎え男女共同参画講演会「やりたいことをやっていい」を開催しました。宮谷さんは出身地の愛媛県で認定看護師として救急・災害医療に携わっていて、平成23年に東日本大震災の被災地に派遣されました。そして平成27年には福島市に移住。働き方や生き方を模索する中で令和2年に起業し、現在に至ります。宮谷さんは自らの経験を元に、「自分の声を聞き、自分に合う方法を見つけること」の意義を語り「自分らしく人生を全うしてほしい」と参加者にエールを送りました。



宮谷さんはピラティスインストラクターとしても活躍中。講話後、座ってできる体操なども教えていただきました。

「ひみつ基地どきどき」 建築文化賞受賞記念イベント

第40回福島県建築文化賞「復興賞」の受賞を記念して、「ひみつ基地どきどき」で、3月23日に記念イベントが行われました。このイベントは10組限定で企画され、事前に申し込みをした家族連れが参加しました。前半は「風船工房MORITTO」によるバルーンショーが行われ、子ども達は、目の前で次々と作られていくバルーンアートに大興奮!後半は家族ごとに協力しながら色とりどりのバルーンアートで花束を作成し、参加者全員で「ひみつ基地どきどき」の受賞を祝いました。



「風船工房MORITTO」の皆さんと一緒にバルーンアートを楽しみながら施設の受賞を祝いました。

飯館電力株式会社から 寄附をいただきました

飯館電力株式会社(菅野宗夫代表取締役社長/佐須)から「陽はまた昇る基金」へ、19万6,000円の寄附をいただきました。本基金は、生活再建のための営農再開や、企業の事業再開などに充てられるものです。

菅野社長と荒利喜さん(飯樋町)、三瓶政美さん(大久保・外内)が3月7日に来庁し、杉岡村長に目録を贈呈。「村民の皆様の理解があるからこそ事業が進められる。今後も地域に貢献し、地域防災などの観点からも協力したい」と強い思いを語りました。



菅野社長(左から2人目)、荒さん(左端)、三瓶さん(右端)が来庁し杉岡村長に目録を手渡しました。

ただじゅんさんがこども園で 表現あそびのワークショップ

3月25日、ただじゅんさんの「あそびっこ公演」が、までのりの里のこども園で開催され、こども園の全園児と春休みの学童保育に通う子ども達が、多彩な演目を楽しみました。

たださんの公演には、相撲、太鼓、三味線、獅子舞など、和の文化が散りばめられています。子ども達はその雰囲気を楽しみながら、みんなで物語の場面を演じたり、お囃子に合わせて踊ったり、表現遊びにも全力で取り組みました。また、幅広い年齢の子ども達が、遊びを通して笑顔で交流していました。



ユーモアたっぷりの語り口で血回しを披露するただじゅんさんに、子ども達が声援を送って大喝采!

元気アップ・ポイント表彰式 8人が50ポイントを達成!

3月13日、『いいたて元気アップ・ポイント事業表彰式』が、交流センター「ふれ愛館」で行われました。

「いいたて元気アップ・ポイント」は、生涯学習課が実施している事業への参加や、図書の貸し出し利用のたびにもらえるポイントで、50ポイントを獲得した方を対象に、年に一度表彰を行っています。

今回50ポイントを達成したのは8人で、表彰式にはそのうち5人が出席しました。式では表彰状と合わせて「いいたて村の道の駅までい館」商品券(5,000円分)が記念品として贈られました。



表彰式の記念写真。笑顔が素敵です。運動に学びに前向きに取り組む心豊かな暮らし、見習いたいですね。